

## 第17回グリーンプランおおた推進会議 議事概要

日時：平成28年11月7日（月）18：00～20：00

会場：消費者生活センター 大集会室

出席者：【推進会議委員】島田委員長、池邊副委員長、長谷川委員、樋口委員、平澤委員、  
牧野委員、原田委員、菅原委員、龍口委員、黒澤委員、荒井委員、市野委員、  
（欠席2名）

【庁内委員】関係各課長10名【傍聴者】4名（庁内関係職員のみ）【事務局】5名

1. 開会
2. 事務連絡
3. 議事

### （1）第16回推進会議の振り返り

＜事務局より資料説明＞ ※意見・質問は特になし

### （2）グリーンプランおおた推進会議分科会（進捗報告会）の実施報告

#### 委員

- ・進捗状況のまとめは、項目の簡略化や説明の追加など、昨年よりも進歩したように思う。
- ・【22】ブルートライアングルプロジェクトのバタフライガーデンは、夢のあるプロジェクトで、大森第五小学校での取組にも期待している。
- ・【23】海上公園の整備推進について、財政負担の様子に見当がつき参考になった。
- ・【23】その他では、臨海部に島がたくさんあるものの、交通網が整備されないと楽しめないもので、将来的には船でもバスでも乗り放題となれば、夢のあることになるのではないかと思う。
- ・【32】呑川の水質浄化対策の推進については、大田区がイニシアティブをとってオリンピックまでには、水質改善することを望んでいる。
- ・【43】魅力ある公園のリニューアルでは、池邊先生が紹介された「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」の最終とりまとめについて、国内外で問題意識は共通していて、工夫していることが分かった。大田区でも公園実態調査の取り組みを有効活用して進めてほしい。
- ・事業の進捗ベースの評価では、質的な成果や今後の課題について、より明確な言葉で表すことを希望した。海上公園の財政負担の問題、公園の実態調査なども進捗報告に盛り込んでいただければ、もう少し身近に感じられると思う。
- ・大田区のHPについては、指摘事項をすぐに実行していただいた。推進会議の報告もきちんと入っていて結構なことである。

#### 委員

- ・天空橋から有明方面の親水ネットワークの方向性はよいが、多摩川についても、土手など活かすべき所が多いと思う。

#### → 明立都市基盤管理課長

- ・多摩川は港湾部と異なり水深が足りないのが、多摩川大橋の防災船着場までは船で行けるが、干満により行けない時もある。多摩川の下流部の活用については検討が必要で、まずは、危険性がない、干満によって座礁することがないようにと考えている。カヌー利用などレクリエーション、防災、物資の輸送等として今は考えている。

## 第17回グリーンプランおおた推進会議 議事概要

### 委員

- ・親水部分の水深は浅いので、国や都に働きかけて深くするという措置も一つの進歩だと思う。丘の部分は各種団体が興味を持っているところなので、利用についてぜひ探っていただきたい。

#### → 委員（まちづくり推進部長）

- ・丘の観光的な視点では、ハード部分だけでなくソフト部分も一緒に取り組んでいる。水辺からの風景だけでなく、丘に上がっていろいろな体験や楽しい思いをしていただけるようなルートを作っていくということが大事で、水辺にある観光資源と水をつなぎながら資源を活かす、丘のポイントと水をつなぐということで臨海部は検討している。多摩川沿いにもそういった場所があるので、そういった視点も含めて取り組んでいきたい。

### (3)平成27年度グリーンプランおおた進捗報告書の承認

#### 委員長

- ・「平成27年度グリーンプランおおた進捗報告書」について、皆さまから承認をいただく必要がある。

(※意見・質問は特になし → 承認を得た)

### (4)施策の調査・検討状況報告

#### ① みどりの基金に関する調査報告

<事務局より資料説明>

#### 委員

- ・最初に何をするか基本的なことを示した上での寄付ならよいが、最初からドリーム債などの資金の調達方法でこの計画を推進するのか。他の区は大変大きな金額が出ているが、大田区としてはどういう考えなのか。

#### → 河原田まちづくり計画調整担当課長

- ・基金創設を検討するにあたり、各区の状況を調べた内容を報告した。大田区の基本的な考え方自体も、現段階ではまとまっていない。討議するための資料も不足しているので、事務局が各区にお願いする追加項目をまとめていく。その辺の考え方についても委員の皆さまからご意見等をいただきながら検討を進める。

#### → 委員

- ・計画について、基本的なポイントを掲げられないと、私たちもどの程度協力したらよいのかという疑問を持つのではないと思う。

#### → 委員長

- ・今のご意見をよく聞いて、検討を進めていただきたい。

#### 委員

- ・みどりの基金のための宝くじなどを提案してもよいのか。

#### → 河原田まちづくり計画調整担当課長

- ・出された提案について、実現性や利益などについて検討を進めていきたい。

#### 委員

## 第 17 回グリーンプランおた推進会議

### 議事概要

- ・都内 23 区の基金を設けていない区、例えば渋谷区などは税金だけでうまく回っているのか。世田谷区が突出して基金を持っているが、これだけ残額を増やすには、何か理由があるのか。

→ 神喰計画調整担当係長

- ・報告書から現段階の金額を示しただけなので、手法についてはこれからお示ししたい。

→ 河原田まちづくり計画調整担当課長

- ・最初の質問について、大田区など現在基金を持っていない区は、例えば土地の購入や整備、人材育成などは、区の一般財源として予算を設けて出している。

### 委員

- ・大田区としては、基金を設けたいという方針がまずあるのか。基金を募らないと厳しいのか。

→ 河原田まちづくり計画調整担当課長

- ・基金を設けるといふこと自体も併せて検討している。

### 委員

- ・各区へのアンケートをする際には、基金の目的や動機は何かということ調べて欲しい。そこが一番の出発点だと思う。目黒区の桜基金は明確で、基金としてあるべき姿だと思うし、地震による熊本城崩壊の危機のための基金等があるべきで、そのように目的がはっきりすれば、区民からも支援、共感を呼ぶのではないと思う。共感が得られないと寄付は期待できないと思うので、目的と動機をはっきりさせていただきたい。

### 委員

- ・大田ドリーム債に我々業者は何年か協力しているが、いくら貯まって何に使って、現在いくらあるのか、そういった資料は役所にあるのか。

→ 委員（まちづくり推進部長）

- ・田園調布せせらぎ公園の都市計画認可された拡張用地の購入と整備にあてる等、使用目的は毎年明らかにして募集したと記憶している。取得や整備がどのように進んだのかという成果について区民の皆さまにご報告したのかについては、今は記憶と資料がないので、委員のご指摘、宿題として調べる。

### 委員長

- ・貴重なご意見をいただいたので、ぜひ次回に反映させていただきたい。23 区以外でも、大田区のような人口集積都市で、みどりの基金を設けている自治体は全国にあるので参考にされたらよいと思う。

## ② 湧水調査の調査状況

<事務局より資料説明>

### 委員

- ・昔は湧水を有効に使っていたが、現在はこういう所で洗濯したり洗い物したりということは、大田区などの都会では皆無だと思う。ただ、89 箇所も調査対象になっていたということが逆に驚きで、よく調査されたと思う。これをどのような方向に位置付けて有効に利用するのか、あるいは、この場所にこういったものがありますよ、と言っただけで終わりなのか。

→ 河原田まちづくり計画調整担当課長

## 第17回グリーンプランおおた推進会議

### 議事概要

- ・湧水を率先して利用するというのは、どちらかというと公共施設が多い。民間事業でも、湧水の保全と、できれば利用を指導している。
- ・大田区の公園等では湧水を利用している。また、開発時の掘削によって水道(みずみち)などの湧水環境が失われるケースもあるので、まちづくり条例に基づき、湧水の保全を指導している。ただ、実際は資料が古くて、資料では湧水があるとなっているのに現地ではなかった、という状況も見受けられる。また水道(みずみち)がどこから来ているのかが分からない中では指導が難しいので、まず湧水関係については保全し、できる範囲で利用していただくというかたちで、湧水調査を活用していきたいと考えている。

#### → 委員

- ・こういう調査は有効な方向に位置付けて欲しいし、調査だけで終わっては惜しい気がする。その辺の目的意識が行政でどの程度あるのか。

#### → 委員長

- ・今後の保全活用方法を検討することや事業者への指導などのために調査して、カルテを作って診断していくための途中段階にある。この後、平澤さんがおっしゃるような中身が出てくると思う。

#### → 委員

- ・先ほどの基金にしても、公園を作るための土地取得に10億かかるが、3億しかないからドリーム債を買って、よい公園を皆で作っていきましょうという方向なのか、目標がないとできないと思う。継続的に維持していけるのか、率直な心配として感じた。

#### → 委員長

- ・将来も考えて持続的にいくように、よくご検討いただきたい。

### ③ 公園実態調査の調査状況

<事務局より資料説明>

#### 委員長

- ・地図上に丸くエリアの印があるが、どうしてこの場所を選んだのか、お話しいただきたい。

#### → 明立都市基盤管理課長

- ・18箇所は、基本的には出張所単位で、その中でも公園が集まっている、地域性を表している所を選定して、今回の調査箇所とさせていただいた。

#### 副委員長

- ・公園利用者アンケートの「地域の公園に求める魅力は何ですか」という項目に、「美しい」とか「いつも人がいる」という言葉がなくて、「樹木や花」などとある事が、とても気になる。樹木があれば公園に行ってみたいかというところではない。また、「子ども達が喜ぶ遊具」とか「施設が新しくきれい」のように、施設は新しくきれいでなければならないなど、その辺が少し旧来的な「公園には何かがなければならない」という感じがする。
- ・「運動や体力づくりができる施設」についても、高齢者の方々が公園で必ずしも運動や体力づくりをしなくてはいけないわけではなく、そういう施設や遊具がなくても、皆が行ったらそこで、「あ、今日は〇〇さん来てないね。」と言えるような、すてきなベンチがあるだけでもよいと思う。新宿区の、とても小さなある公園では、皆が輪投げのようなものをしていて、そこが道路から近いので、「あ、〇〇さん、寄っていかない？」というよう感じで70代くらいの方を中心に賑わっている。

## 第17回グリーンプランおおた推進会議

### 議事概要

- その辺について、地域の公園に求める魅力が、少し古く旧来的な公園の概念だと思う。まずは「美しい」とか「きれい」とか、行ってみたいと思う感じがあった方がよい。「何かあって、何かやらなければ公園ではない」という感覚では、集計の時にそれで考察してしまうと成果を間違えてしまう。
- もう1つは、今使われていないからといって、そこは要らない公園なのかというと、それはイコールではない。今ある施設や整備の内容が、たまたま地域とフィットしていないとか、行っても面白くないとか、日陰があるとか、そういう現状をとらえずに集計をすると、「この公園は要らない」という話になってしまうので、集計結果を考察する際に、単純にならないように気をつけてもらいたい。

#### 4. 副委員長 ご講演

「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方」

#### 5. 閉会

<事務局より連絡>